

☆森や自然を考える室内ネイチャーゲーム授業案

荒川夢クラブ

- 1 時間:90分授業
- 2 学習対象:小学生
- 3 目標:室内ネイチャーゲーム「森の設計図」を通して森や自然の現状を考え、森や自然のあるべき姿、楽しさ、大切さを考え深めていく。
- 4 場所:体育館や大教室
- 5 時間配分:

あいさつ、講師紹介	1分
ネイチャーゲーム導入	15分
「森の設計図ゲーム」の説明	5分
「森の設計図ゲーム」展開	40分
発表集約	28分
終わりのあいさつ	1分

6 授業展開:

- ①このネイチャーゲーム導入に、季節の動植物の短いVTRや実際に採集した季節の草花を提示し、「森の設計図」製作の動機付けにする。
- ②班ごとに「森の設計図」を製作する。普段の生活班を基礎に5、6人単位の班体制にする。
- ③班のみんなで森のオーナーになったつもりで理想の森や夢の森を考え、どんな木がほしいか、どんな動植物がほしいか、森の中に川、滝、谷などもあったら、とアイデア、発想を進める。みんなの考えがまとまったら、模造紙に共同で描き始める。
- ④班ごとに「森の設計図」を製作できたら、各班で発表集約する。

7 発表集約の仕方

- ①できあがった各班の「森の設計図」は体育館の壁に一斉に貼る。
- ②自分たちの作品について、各班から代表で班長に3分程度で発表してもらう。どんな気持ちで、どんな意味で、どんな狙いで描いたか、などを発表してもらう。
- ③それらを講師、スタッフが集約、コメントする。その中で、どうやったら子供たちが描いた理想の森作りが実現するか、実現できないのはどうしてか、などを考える。それらを通して自然や環境のことも考えるきっかけにする。

8 準備するもの:

荒川夢クラブ:季節の動植物の紹介VTR、採集した季節の草花

学校:模造紙、マーカー、クレヨン、色鉛筆、ブルーシート、古新聞(班の分だけ)

9 備考:

- ①低学年から高学年まで幅広く行える室内ネイチャーゲームです。
- ②アウトドアのネイチャーゲームの雨天対策プログラムとしても使えます。